

## 平成30年度 第1回JSR編集委員会 議事録

日時：平成30年5月24日（木） 午前7：00～8：00

場所：神戸国際会議場4F「406」

出席：長谷川 和宏（担当理事）、川口 善治（委員長）、赤澤 努、石井 賢、伊東 学、  
江幡 重人、寒竹 司、税田 和夫、二階堂 琢也、長谷 斉、福岡 宗良

（以上、11名）

欠席：青田 洋一、平林 茂（アドバイザー） （以上、2名）

陪席：中村 博亮（前担当理事）、CBR 山田氏、編集分室 尾島氏、事務局 鈴木

（以上、4名）

### 報告事項

1. 前回JSR編集委員会議事録について（資料1）

一同で前回議事録を確認した。

### 審議事項

1. メンバー変更（資料2）

川口委員長が、今回が旧委員会での開催最後となり、次回から新メンバーが組織されると説明し、理事会で承認された委員一覧を報告した。一同査収した。

2. JSRの発刊について（資料3）

編集分室作成の第9巻の発刊予定が示され、一同査収した。とくに大きな遅れ等もなく、JSSR号に関しては以降の掲載数も問題ないとの報告がなされた。

各学会の編集委員長より現状の投稿や進行状況等について報告がなされた。全体として投稿数は微減の傾向にあるが、特に大きな遅れや問題がないことを確認した。

3. 広告収入について（資料4）

川口委員長が、現状の広告申し込み状況一覧を示し、表3に掲載中のギリアド社については半年の約束で広告を出稿いただいているため、このままだと今年の7月号以降表3があくことになることを説明した。表3については、現在表3対向に掲載している来年度のJSSR 学術集会の案内を掲載するとしても、その移動により表3対向があいてしまうとして、表3・表3対向について検討した。

企業への依頼については、伊東委員が帝人ナカシマメディカル、石井委員がグローバス・メディカル（旧アルファテック・パシフィック）に連絡をとり、広告掲載の可能性を確認することとなった。また、川口委員長が、現在6か月表3に広告を掲載中のギリアド社にも、あと半年延長できないかお願いしてみるようになった。

7月号の広告出稿期限が6月10日頃であることに鑑み、以下のように進めることとなった。

1) 6月10日までに、企業からの広告出稿が得られれば、それを掲載。

2) 企業からの出向が得られなければ、学会広告を検討する

川口委員長：日本で ISSLS が開催されるので、その学会案内はどうか。

中村前担当理事：海外学会で日本で開催されるものはほかにもあるので、ISSLS だけ特別扱いするのは難しい。また日本以外で開催される海外学会についても、選別が難しい。

伊東委員：日本側弯症学会を主催した際に、他学会に所属している先生方への告知を行う方法が少なかったので、関連8学会の学会案内や投稿等を促すような内容はどうか。

寒竹委員：西日本脊椎研究会など、一地方に限定した学会については、全国的な告知は不要と考える。

福岡委員：同様に東海脊椎脊髄病研究会も全国的な告知は不要と考える。

長谷川担当理事：全国学会で JSSR 以外となると、日本腰痛学会、日本脊椎・脊髄神経手術手技外科学会、日本脊椎低侵襲外科学会、日本脊椎インストゥルメンテーション学会、日本側弯症学会の5学会になるが、それぞれの学会に持ち帰って検討してもらいたい。この場合の掲載料については、別途協議(無料?ディスカウント?)する。

#### 4. 発行数について(資料5)

川口委員長が、最新号までの印刷部数の資料を提示した。

中村前担当理事が、「紙媒体要不要調査」によると、ほとんどの会員が「要」と回答するため、最終的には完全電子化へ進みたいが、現状は進めない状況にあると説明した。「要」がほとんどになる理由は、若い世代はWEBで閲覧できれば問題ないが、上の世代で紙を求める層がまだ学会内に多くいることや、「不要」としても特に何のメリットもなく、また「要」としても会費等の金額も変わらないため、希望を変更しない人が多いと補足した。長谷川理事が、本件についてはすぐに完全電子化ということではないが、次回以降も引き続き検討していきたいと発言した。

#### 5. その他

・COI委員会から依頼の件

川口委員長が、COI委員会から『JSR』掲載時にCOIの開示請求を行っていないことについて、今後は行う必要がある旨連絡があったと説明した。詳細については、COI委員会と検討し後日報告するとし、一同承知した。

・今回で退任する委員から、各自一言挨拶があった。

・次回の委員会開催は、7月12日(木)午前7:00からを予定(骨軟部腫瘍学会中)

以上